

意見（パブリックコメント）の概要及び意見に対する考え方

No	意見（パブリックコメント）の概要	意見に対する考え方
1	<p>目標について</p> <p>観光振興を戦略的に推進するため、目標設定に国の観光統計（宿泊旅行統計調査等）を活用してはどうか。</p>	<p>目標値の設定においては、経年変化や他県との比較ができるよう、具体的な数値で示す定量的な指標項目を選定したところであり、本県の観光入込調査をはじめ、観光庁の宿泊旅行統計調査を活用し、宿泊者数や外国人宿泊者数を算定したところです。</p>
2	<p>県民意識の醸成を図るため、観光振興に対する県民意識の変化（向上）を把握する指標を導入してはどうか。</p>	<p>県民意識の中に観光が身近になり、「おもてなし」が定着することが重要であることから、調査内容を工夫するなどにより県政世論調査の項目とするなど、その手法を検討したいと考えています。</p>
3	<p>観光客の満足度を把握する指標を導入してはどうか。</p>	<p>観光振興施策の取り組み成果や効果として、観光客の満足度が向上し、リピーターとして再度来県していただくことが重要であり、「観光客の満足度」を目標の項目として追加しました。</p>
4	<p>富山らしい魅力創出の例示に、映画でも活用されている富山地方鉄道など県内鉄道施設（車両、駅施設等）の活用を加えてはどうか。</p>	<p>県内には、最新の車両が導入された路線や、また愛好家に人気が高い大正ロマンあふれる駅舎が現在でも使用されており、全国的にも注目されていることから、安全性や利便性・快適性との調和を図りつつ、富山らしい魅力創出に結びつくよう施策の例示に加えたいと考えております。</p>
5	<p>広域的な連携を図る際、連携する他県に宿泊客を取られないような対策を併せて講ずることが重要。観光客が「泊まるなら富山のココ」と思うような魅力を高めるサービスの創出を求めたい。</p>	<p>個人旅行の旅行形態が増加するとともに、観光ニーズが多様化・高度化しており、宿泊地・宿泊施設についても、ブランド化や高付加価値化が求められています。</p> <p>このため、プランにおいても食のブランド化や高齢者や女性など多様なニーズに対応した受け入れ態勢（宿泊施設）の整備・充実を盛り込んだところです。</p>
6	<p>県民自身が富山県内のことをよく知り、自信をもって富山の良さを伝えることができるきっかけとして、「県内まち歩き」を促す施策の充実を図ってはどうか。</p>	<p>ふるさとのことをよく知るには、地域や県内の観光地を巡り、イベントに参加するなど自ら楽しんでいただくことが大切であり、各地で「まち歩き」が行われています。</p> <p>県としても、このようなイベント情報の提供に取り組んできたところですが、今後とも、行政や民間が連携してまちの魅力アップするとともに、まち歩きを楽しむことができる施策を進めていきたいと考えています。</p>

7	<p>他所とは違う「街の印象」を高めるため、全国チェーン店に協力を求めて、とやまだけの「オリジナル看板」を掲げてもらうよう働きかけてはどうか。</p>	<p>看板等の屋外広告物については、「富山県景観広告ガイドライン」を作成し、景観に配慮し富山らしい生き生きとしたまちづくりに寄与するものとなるよう具体的に企画やデザインの手法を紹介しています。</p> <p>また、「景観広告とやま賞」を創設し、景観に配慮された優れた屋外広告物（南砺市井波の木彫看板など）の顕彰、普及を図っているほか、近く屋外広告物条例の許可基準を見直すこととしており、今後とも県内の看板が景観に配慮されたものとなるよう取り組んでまいりたいと考えています。</p>
8	<p>外国人向けの情報発信（HP作成等）に、外国人観光プロフェッショナルを起用してはどうか。</p>	<p>これまでも本県を紹介するDVDやポスター等について、国際交流員や関係する国の県内在住者の意見を聞きながら作成しているところです。</p> <p>ご提案の件についてはその趣旨を活かしながら、今後取り組んでまいりたいと考えています。</p>
9	<p>人を呼び込むための大胆な発想で取り組む必要がある。室堂を中心とした国際的フルシーズンスキー場を造ってはどうか。</p>	<p>室堂周辺は、国立公園であるとともに、雷鳥や高山植物など後世に引き継ぐべき、また本県のみならず国内的にも保全すべき貴重な自然資源です。そのため、立山全域の環境保護に取り組んでいるところです。</p> <p>スキー場の造成による動植物など自然環境への影響等を考えると、ご提案の件については、慎重に検討すべきものと考えています。</p>
10	<p>ガラス工芸都市として、教育から製造に至るまでの一貫した環境を富山市の中心部に構築してはどうか。</p>	<p>富山市では、新しい文化の創出と産業育成の観点から、ガラス工芸・芸術の振興に力点を置き、様々な施策に取り組んでおります。ガラス造形研究所やガラス工房のあるガラスの里は、作家の育成や産業振興の場として、中心市街地はガラス芸術・文化の普及と交流の場として位置づけ、全体として「ガラスの街とやま」の推進を図っていききたいと考えています。</p>
11	<p>県内に点在する美術・工芸品を集中化し美術館群を構築してはどうか。</p>	<p>県内には、各地域の歴史や文化に育まれた美術・工芸が大切に守られています。これらの地元根付いた作品群を地元の美術館等において、各地の風土やまちなみと一緒に味わうことで感動が増すと考えています。</p>